

年 組 名前：

直売所の壁画 生徒制作



壁画のデザイン制作に取り組む生徒ら
＝笛吹高

笛吹高美術部は、笛吹市芦川町上吉川の直売所の外壁に飾る絵画のデザイン制作に取り組んでいる。地元住民や観光客の安泰を願ったため、芦川町観光協会の市川栄治会長が同部に依頼した。縁起が良いとされる赤富士と芦川の風景を組み合わせた構図で、生徒は芦川に訪れる多くの人に見てほしいと話す。

〈土屋真佑子〉

笛吹高美術部 赤富士と芦川の風景描く

同町上吉川の「直売野菜館 響」に絵を飾る予定。近くは地域住民や観光客の安全を願う交通安全地蔵がまつられており、「地域の安泰を二重に願いたい」（市川会長）として同校にデザインを依頼した。

1～3年生23人が夏休み明けから制作を始めた。2年で部長の三森野々夏さんが芦川に足を運んで、地域で有名なものや特徴ある風景を観察し、部員のアイデアを取り入れながらデザインを考えたと。「富士山や芦川にある家、畑など、それぞれが目立つようにした」という。

夕日に照らされた赤富士がそびえ立ち、山々や段々畑、スズランなど、芦川の風景を写実的に描いている。部員は週3日、3チームに分かれて約1・2キロ四方のキャンパスに油絵を描いている。

完成した絵は撮影し、約3キロ四方のビニール系素材の生地「ターポリン」に複写し、近く設置する予定。3年の小林蒼生さんは「立体感を出すなど、写実的に描くのは難しかった。芦川には外国人の観光客なども訪れるため、山梨の自然を伝えられたらうれしい」と話した。

(2023年10月27日付 山梨日日新聞 21面)

問1 笛吹高美術部は、どこにあるどこに飾る絵画のデザインに取り組んでいますか。

.....

問2 絵画は、芦川のどのような風景を描いていますか。

.....

問3 キャンパスに油絵で描いた絵画を、どのような手順で設置しますか。

.....

.....